

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.230

2024年11月1日

発行所 兵庫教育文化研究所
〒650-0004

神戸市中央区中山手通4-10-8

「施設で生活する子どもたち支援実践交流集会」に ぜひご参加ください。

兵教組・兵庫教育文化研究所は07年度に「施設で生活する子どもたち支援研究会」を立ち上げ、校区に児童養護施設（以下、施設）のある学校のネットワーク化をはかってきました。また、08年度から「施設で生活する子どもたち支援実践交流集会」を毎年開催し、「施設で生活する子どもたちの自立支援」をテーマに、施設と学校、および教育と福祉の連携のあり方について研究をすすめてきました。今後も、施設で生活する子どもたちに限らず、すべての子どもたちへの自立支援にむけたとりくみを継続していくために、21年度より、各地区・地域組合において「家族を頼れない子どもたち支援学習会」を開催しています。

子どもの相対的貧困率は、11.5%という依然として厳しい状況にあります（21年厚労省調査）。特に、一人親世帯では44.5%にのぼり、半数近くが貧困状況にあります。施設で生活している子どもたちだけではなく、すべての子どもたちを関係機関の連携によっていかに支援していくのが、学校・地域の課題となっています。加えて、22年の児童虐待相談件数が約21万9千件から約21万5千件に下方修正されたものの高い数値であることに変わりはなく、子どもたちの心のケアを含めたセーフティネットの構築が必要になってきています。

本年度は、日本が子どもの権利条約を批准してから30年を記し、「子どもの思い、願いが受け止められているか」、そして、改めて「子ども虐待」について考えることを目的にパネルディスカッションをおこないますので、ぜひご参加ください。オンラインでの参加も可能です。各地域組合にお問い合わせください。

1 日 時 12月8日（日） 13:30~16:30（受付13:00~）

2 場 所 ラッセホール 2F ローズサルーン

3 テー マ 「子どもの思い、願いが受け止められているか」
～子どもの権利条約30年、改めて「子ども虐待」を考える～



2023年「施設で生活する子どもたち支援実践交流集会」より

4 集会内容

第1部 2023「子ども虐待」実態調査報告 西嶋 保子 さん（兵庫教育文化研究所）

第2部 パネルディスカッション

○ファシリテーター 伊藤嘉余子 さん（大阪公立大学）

○パネリスト

・教職員として 百溪留美子 さん（赤穂市立赤穂西中学校）

・施設関係者として 小田 敏治 さん（児童養護施設 睦の家）

・里親として 秋吉 一恵 さん（尼崎地区里親会）

○情報交換・発表

○パネリストからの追加のお話